上映作品

族譜 ―林権澤監督
35mm 110分 '78年

丙泰と英子 ―河吉鍾監督
35mm 110分 '79年

郭公・夜中に鳴く ―鄭鎮宇監督
35mm 118分 '80年

避幕 ―李斗鏞監督
35mm 93分 '80年

糸車よ糸車よ ―李斗鏞監督
35mm 100分 '83年

現代韓国映画 Vol.10

韓国映画傑作選

특별상영작품

ギャグマン ―李明世監督
35mm 121分 '88年

対談ゲスト

8月12日(土)
金佑宣(映画監督)
荒川洋治(詩人)

8月13日(日)
黒田福美(女優)
宇田川幸洋(映画評論家)
佐野良一(韓国日報記者)

当代随一の人気スター安聖基(アンソンギ)と映画初出演の裵昶浩(ペチャンホ)監督のゴールデン・コンビで贈る噂の新作「ギャグマン」早くも登場! 時代劇から青春映画まで珠玉の6作品を選りすぐっての堂々上映。韓国パワーに驚愕する熱い一週間!!

会期■'89年8月6日(日)―13日(日) ※8月10日(木)は定休日

会場・お問い合わせ■スタジオ200 (西武百貨店池袋店8階) ☎03-981-0111(内5328・9)

料金■1,400円(1,200円=前売り・電話予約)
2,200円(2回券) ※消費税込み

チケット取り扱い■チケットセゾン 03-5990-9999
チケットぴあ 03-5237-9999
スタジオ200

主催■スタジオ200 協力■駐日大韓民国大使館文化院 監修■佐藤邦夫

Studio 200
西武池袋店8階

SEIBU 西武 池袋

현대한국영화
現代韓国映画 Vol.10

韓国映画傑作選

タイムテーブル	2	3	4	5	6	7	8	9
6日(日)			A		B		C	
7日(月)			D		E		F	
8日(火)		C			B		A	
9日(水)		E		F			D	
11日(金)		B		C			E	
12日(土)		A		D		対談	F	
13日(日)			F	対談	B			

※10日(木)は定休日の為、上映はありません。※全回入替制/当日12時より2回目以降の上映の整理券を配布。

A「族　譜」

Genealogy

(1978年、35mm、カラー、110分)

◆監督:林権澤(イムゴンテク)

◆原作:梶山季之

◆出演:朱善泰(チュソンテ)(ソルジニョン)、河明中(ハ・ミョンジョン)(谷)、韓恵椒(ハンヘスク)(オクスン)

◇日帝末期、日本が朝鮮で強制した創氏改名の悲劇を取り上げた、日本でもよく知られた作品。第17回大鐘賞監督賞受賞。

◇京畿道庁の総力一課に勤めている日本人青年の谷は、総督府の命で韓国人の氏名を日本式に改名する作業に就いた。谷は、訪れた一帯の長ソルジニョンの人間性と彼の娘オクスンの美しさにひかれる。ソルの真摯さと韓国人の族譜に対する深い思いを知って感動した彼は、やがて葛藤に陥っていくのだった。

林権澤(イム・ゴンテク) 1936年生まれ。'62年、『豆満江よさらば』にて監督デビュー。以来、国策映画をはじめ数多くの作品を手掛け、大鐘賞(韓国版アカデミー賞)監督賞、映画芸術賞などを数度受賞。現在、韓国映画界最高峰に位置する監督である。

フィルモグラフィ●『豆満江よさらば』('62)、*『族譜』('78)大鐘賞監督賞受賞、『マンダラ』('81)大鐘賞受賞、『霧の村』('82)韓国演劇・映画芸術賞受賞、『炎の娘』('83)、『キルソドム』('85)、『シバジ』('86)、『アダダ』('87)

B「丙泰と英子」

The March of Fools Part 2

(1979年、35mm、カラー、110分)

◆監督:河吉鍾(ハ・ギルチョン)

◆脚本:崔仁浩(チェイノ)

◆出演:孫正煥(ソンジョンファン)(ピョンテ)、李怜玉(イヨンオク)(ヨンジャ)

◇「馬鹿たちの行進」の第2部として作られた作品。二人の若者が結婚するまでの姿をコミカルに綴った好作品。原作は、人気小説「ソウルの華麗な憂鬱」。

◇ヨンジャに失恋したピョンテは挫折し、入隊する。実はヨンジャも彼を愛していたのだが彼が除隊して戻って来たときには既に、彼女は有望な青年医師チュヒョクとの結婚を急がされていた。そこでピョンテは必死の思いでプロポーズし二人は晴れて婚約するが、ある時、彼はヨンジャから絶交を言い渡され失意のどん底へ。チュヒョクとの賭け(結婚式場に先に着いた方がヨンジャと結婚する)に出た彼は、裸足で駆けつけるが……。

河吉鍾(ハ・ギルチョン) 1941年生まれ。ソウル大仏文科卒業後、UCLAで映画理論、演出を学び帰国。'72年、『花粉』にて監督デビュー。芸術性と社会性を追求した作品づくりで、'70年代韓国映画の旗手となるが、'79年、才能を惜しまれながら夭折。

フィルモグラフィ●『花粉』('72)、『守節』('73)、『馬鹿たちの行進』('75)、『女を探します』('76)、『続・星たちの故郷』('78)、*『丙泰と英子』('79)

C「郭公・夜中に鳴く」

Shall Cuckoo Sing at Night?

(1980年、35mm、カラー、118分)

◆監督:鄭鎮宇(チョンジヌ)

◆原作:鄭飛石(チョンビソク)

◆出演:李大根(イデグン)(トリ)、丁允姫(チョンユニ)(スニ)、キム・シンジェ(キム)

◇'81年、主演女優賞をはじめ9部門で大鐘賞を受賞した名作。

◇人里離れた山の中。みなし娘スニは炭焼きのトリに育てられ、やがて彼と結婚、二人は幸福に暮らしていた。ある日、町へ出たスニを山林監視人キム主事が見初め、山まで彼女を追って来るが、相手にされない。怒ったキムは二人の仲を引き裂こうとし、トリを捕える。スニはキムに襲われそうになるが、トリの親友のおかげで危機を脱し、山でトリを待つ決意を固める。その晩、家には明かりが灯り、トリの帰宅を確信したスニ。しかし彼女の前に現れたのは、キムだった……。

鄭鎮宇(チョン・ジヌ) 1938年生まれ。'63年、『一人息子』にて監督デビュー。以来、数多くの作品を手掛ける。'71年、宇進フィルムを設立。現在、韓国映画事業の経営にあたる。前韓国映画人協会理事長。

フィルモグラフィ●『一人息子』('63)、『背信』('64)、『シム・バッタ』('79)、*『郭公・夜中に鳴く』('80)、『鸚鵡、体で泣いた』('81)、『恋女木』('84)

D「避　幕」

Pee-Mak

(1980年、35mm、カラー、93分)

◆監督:李斗鏞(イドゥヨン)

◆脚本:尹三六(ユンサムニュク)

◆出演:兪知仁(ユジイン)(オッカ)、南宮遠(ナムグンウォン)(カン進士)

◇「避幕」(罪人をかくまう部屋)という民俗的題材をもとに、巫子の姿をミステリアスに描いた作品。'81年ベネチア映画祭でISDAP賞を受賞。

◇水里谷に住むカン進士*の家では初孫が重病にかかり、オッカという名の優れた霊力をもつ巫子が迎えられた。彼女は、初孫は悪霊にとり憑かれており、それは避幕番サムドリの怨恨によるものだと告げる。ある時、カンの寡婦が仮死状態で避幕へ移され、サムドリの介抱により一命をとりとめる。やがて二人は親しくなるが、そのためにカンによって処断されてしまう。オッカは実はサムドリの娘であり、その事実を知りカンへの復讐を企てる…。

*進士(チンサ):李朝時代の官職。

E「糸車よ糸車よ」

Mulleya Mulleya

(1983年、35mm、カラー、100分)

◆監督:李斗鏞(イドゥヨン)

◆脚本:林忠(イムチョン)

◆出演:元美京(ウォンミギョン)(キルレ)、申一龍(シンイルリョン)(ユンボ)

◇李朝時代の女性史を扱った傑作。大鐘賞作品賞受賞のほか、カンヌ国際映画祭ノン・コンペティション部門「注目すべき作品賞」受賞。

◇良家ながら家が貧困だったキルレはキム進士の亡子と結婚し、若くして未亡人となる。性に目覚めた彼女は自分を強姦した男と関係を持つが、そのことが家人に発覚し家を出た。途中、彼女はチェ進士の下男ユンボと出会い同家に入るが、チェに関係を迫られて逃亡、ユンボとともに彼の故郷へ行き結婚する。ユンボは家のために後継ぎを欲しがるが、なかなか子宝に恵まれず、とうとうキルレは他の男の種で子供を産まされる。

李斗鏞(イ・ドゥヨン) 1942年生まれ。'70年、『失われたウェディング・ベール』にて監督デビュー。以来、娯楽映画から芸術映画にいたる幅広いジャンルの作品をつくり、国際映画祭の審査委員を務めるなど、海外にもその名は知られている。'86年、斗星映画を設立。

フィルモグラフィ●『失われたウェディング・ベール』('70)、『草墳』('77)、『警察官』('79)大鐘賞最優秀作品賞受賞、*『避幕』('80)ベネチア映画祭ISDAP賞受賞、*『糸車よ糸車よ』('83)大鐘賞作品賞受賞、『桑の葉』('85)

F「ギャグマン」

Gagman

(1988年、35mm、カラー、121分)

◆監督:李明世(イミョンセ)

◆脚本:李明世、裵昶浩(ペチャンホ)

◆出演:安聖基(アンソンギ)(イ・チョンセ)、裵昶浩(ムン・トソク)、ファン・シネ(オ・ソヨン)

◇人気スター安聖基と、「ディープ・ブルー・ナイト」でもおなじみの裵昶浩監督とのゴールデン・コンビが共演する話題の新作。単調な毎日にうんざりして、面白みのある生活を夢見続ける人々の姿を描いた社会風俗図。

◇三流キャバレーのギャグマン、イ・チョンセ、町外れで理髪店を営むムン・トソク、食べて寝て遊ぶことだけに明け暮れる女の子オ・ソヨン。彼らは蒸し暑い夏の日に巡り会った。四千万人の国民が共感する偉大な映画を製作しようと、彼らは意気投合するが……。

李明世(イ・ミョンセ) 1957年生まれ。ソウル芸術専門学校で映画を学んだ後、金洙容らベテラン監督に師事。裵昶浩監督の最も信頼すべきパートナーとして、「鯨とり」など彼の6作品(うち3作品はシナリオ参加)の助監督を務める。その繊細な感性には定評がある。

*は今回の上映作品。